JUMP COMICS

荒木飛呂彦

JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険

第43巻

荒木飛呂彦

ジョースター家のルーツ
1880
ダリオ・ブランドー
殺害
ジョージ・ジョースターI世
(英国貴族領主)
メアリー
殺害
ジョナサン
(波紋を修業)
(考古学者)
エリナ
1900
ディオ
殺害
間接的に殺害
ジョージ・II世
(波紋力なし)
(空軍パイロット)
1920
リサリサ
(エリザベス)
(波紋を修業)
(1889)
1940
ジョセフ
(ニューヨークの不動産王)
(波紋を修業)
スージーQ
(イタリア人)
空条貞夫
(日本人ミュージシャン)
ホリィ
1970
空条 承太郎
(波紋の修業はないが自らのスタンドをもつ)
(現在のジョセフ)
スタンド:「星の白金」
(1989)
(ディオ 承太郎の手によって斃される)
(日本人・教師)
1990
虹村億泰
スタンド:「ザ・ハンド」
東方朋子
東方仗助
(高校1年生)
スタンド:「クレイジー・ダイヤモンド」

空条承太郎

守護霊にも似た超能力、スタンドを持つ。ディオを倒したのち、海洋冒険家として名を成す。

東方仗助

杜王町の高校1年生。髪型のことをけなされるとブッツンくる直情型。血縁上は承太郎の「叔父」にあたる。

支倉未起隆

自称「宇宙人」。
スタンド：
『?』

噴上裕也

暴走族の少年。
スタンド：
『ハイウェイ・スター』

前巻までのあらすじ

これは一世紀以上にわたるディオとジョースター家の因縁の物語である……。

現代の日本——ジョセフ・ジョースターの孫、空条承太郎(ジョジョ)はスタンドと呼ばれる超能力を持っていた。その影響により倒れた母を救うため、その元凶、ディオを倒すため、ジョジョと仲間たちはディオのいるエジプトに向かった……。仲間を次つぎに失いつつも承太郎はディオを倒した……。

＊　＊　＊

一九九九年の日本。地方都市、S市杜王町ではディオの能力を引き出した「弓と矢」によって、スタンド使いが増やされていた!! 殺人鬼吉良吉影は川尻浩作に姿を変え、杜王町に潜伏していた。しかし、植物化したスタンド猫、「ストレイ・キャット」がきっかけとなり、その正体が息子、早人にバレた! 一方仗助と億泰は鉄塔に謎の男を見つけた……。

ジョジョの奇妙な冒険

JoJo 第43巻

エニグマは謎だ！の巻

もくじ

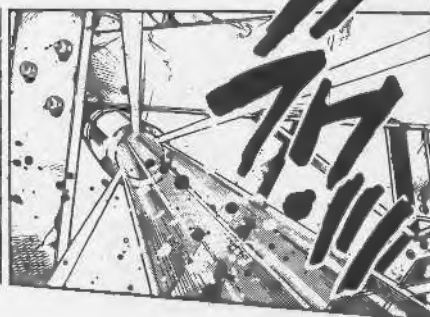
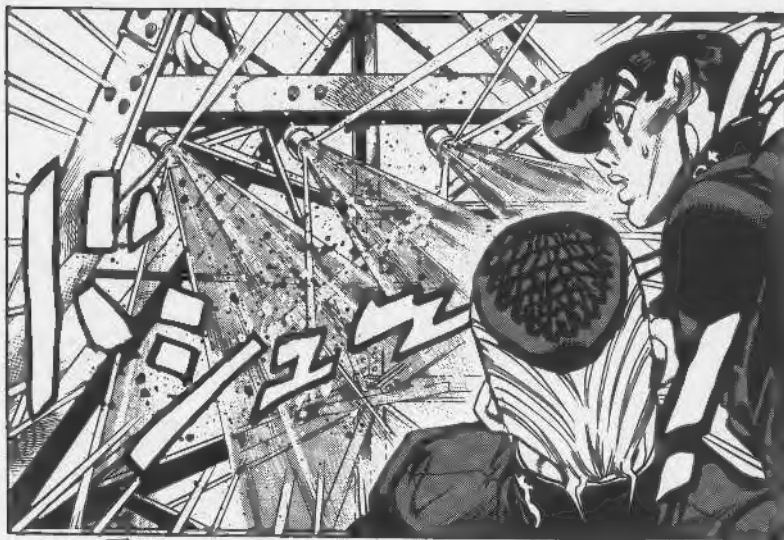
パアアアアン
見ろよ…
向こうもオレたちに気がついたようだぜ…
鉄塔に住もう その②
ジョジョの奇妙な冒険

あいつが「送電鉄塔」で何をしてんのか…スゲー興味あるとこだけどよー
でも最も用心しなくちゃあなんねーのは……！
……あいつが「強力な敵」かも…しれねーっつートコロだぜッ！
うむ
闘う前に「敵」か「どうか」見分けられる方法がありゃあいいのによォー
そりゃあ簡単にわかるぜ億泰
簡単に？どーやって見分けけんだよ!?
やつが「登って来いよ」ってさそったら「敵」だよ
まちがいねぇ「敵」なら登らせといて襲うだろうな
確かに…さそったら「敵」か…
あの「鉄塔」は何かヤバそうだ…登るのは絶対ヤバイぜ！
わたしはどうしましょう
このまんま双眼鏡でいてくれよ
覗いて偵察できっからよ
わかりました
よし行くぜッ！

そこで止まれッ！おまえらッ！
この「鉄塔」にそれ以上近づくなよッ！
え……
……………
聞いたか…仗助？今…「近づくな」って言ったぜ
この場合はヤツはどっちだ「敵」か？
ああ……
ど…どっちだろうね？……
もっと後ろに下がりなよ…
今…ちょっと「用」をたしたものでね…
ここ…「トイレ」なんだ…てっぺんに雨水を貯める「貯水カン」があってね
その水で今洗い流したところなんだ

ホラ！
早く
後ろに下がりなよ！
もうちょっと
下がらないと
危ないよ
…………
？
何の
事だ？

こ…
これ…もしか…
して！

うわあああ——っ
ドゥーーン
だから言ったじゃあないか「ブンニョー」がぶっかかるよ!
バ…バッチイッ!
バッチイ?……失敬な!
そこらになってる野草に肥料としてやるためにワザとまくように作ったんだ
わたしは無駄のないリサイクルが好きでね…
右の方にあるのが「ツユクサ」だろ
「ヤマウド」に
「ヒメジョオン」
「オランダガラシ」全部食べれる野草だよ
しかも野草がなっていると食べにやって来る野ウサギも罠でつかまえられ一石二鳥なんだ
水洗トイレ!?だとォー
やっぱりあんたここで生活してんのかよォ!

どうやら 君たち…… 好奇心で 私の 家を見に来た ようだね？
何を 言ってるんだ！ ちゃんと 金を払って 買った家だよ！！
この辺 地上25メートル
シャワー
フトン（寝る時は落ちないように しばって寝る 起きたらそのまま干せる）
水洗トイレ
ウサギの罠
食用野菜
香辛料 薬草
キノコ
排水
「家」？
わたしの 家ってよォ……
これ 電力会社の 「鉄塔」じゃあ ねーのォ？

買った？
10万円で……？
土地は違うがね……
だがね・・・クズ鉄として売ったんだろうが人が住み始めると「鉄塔」と言ってね
出ていけと言っても誰もわたしを追い出す事はできなくなっているんだよ
たったの10万円さ……
自給自足だから仕事勤めなんかしなくていいし
まったく家を出なくても「鉄塔」を移動するだけで運動不足にはならないよ
見ろよこのスバらしい眺めを
え？ちょ…ちょっと待ってくれ
家を出なくってもってあんたいつからこの「鉄塔」に住んでるの？

そうだなあ もう 三年に なるかな

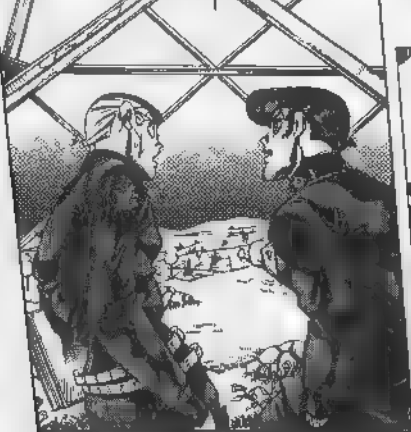
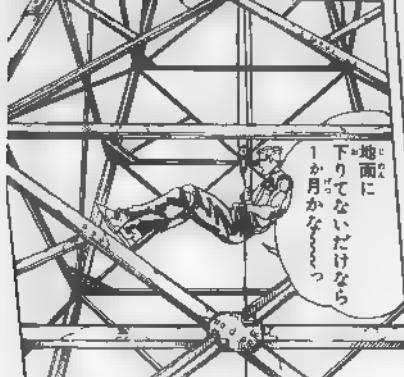
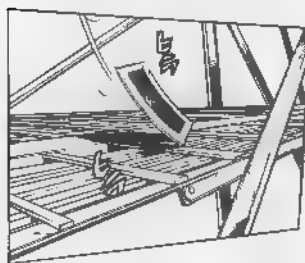
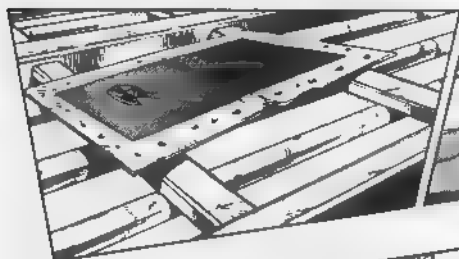
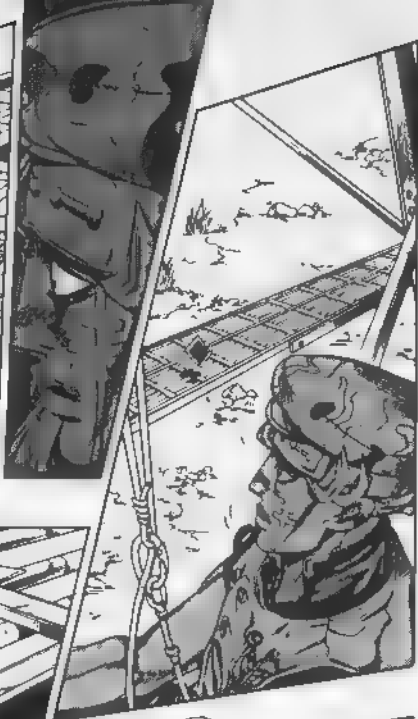
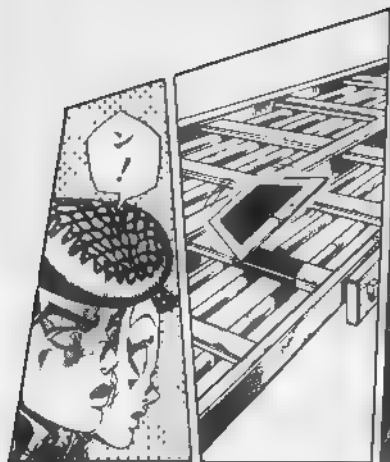
地面に下りてないだけなら 1か月かな〜〜〜っ

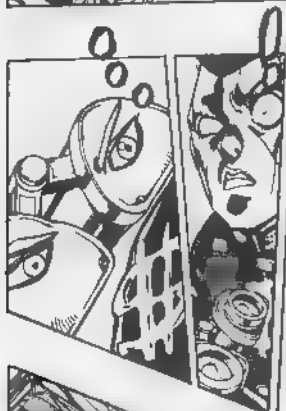
さっ

三年だとォーッ

ポロリ
ヒラ
ヒラ
ヒラ
こ!
ヒラ
ちょっと…!
ポケットから何か落ちたっスよ

ン!
写真か?
それ?
もう帰ってくれないか?
拾ってくれなくていいよ
後でわたしが拾うから
ポラロイド写真のようだな
何焦ってんだよ?

いいったら！
帰れったらッ！

何イッ！てめーはッ！
てめーは『吉良のおやじ』
やはり幽霊おやじがからんでいたかッ！
ドドドドドド
おいッ!?仗助ッ！
ドドドド

やっと入ってくれたか……
!?
…………
…………
入るの待ってたよ…ついに「鉄塔」の中に入ったなッ！
ドシュウゥゥゥ

人は「入れ！」と言うと用心して入らない「入るな」と言うとムキになって「入ってくる」
？
な…何だ？
よくやったぞ「鋼田一豊大」
よくぞマヌケ仗助をこの「スーパーフライ」の中に招き入れたほめてやる
ガ
この「鉄塔」に入ってほしくて近づくなって言ってたんだよ「スーパーフライ」の中についに入ったな東方仗助！
ドドドドド
ヤバそうだ！戻って来い！仗助ッ！
何かヤバイ！

あそこに「矢」があるんだ
いや…そこに「吉良のおやじ」がいる！
野郎てめーッ!!
ヒャホホホホホホ

何ィーッ
そいつは「鉄塔」の外には出れないのさ！
無理に出ようとすると！
この「鉄塔」はなあ～～
ひとり入ると次の誰かが入ってくれるまで……

そいつは「鉄」塔の一部になってしまうッ!
それがオレのスタンド「スーパーフライ」!!

仗助ッ!
うおおおおおおッ

でもオレの「スタンド」って言ったけど「スーパーフライ」はオレの手に負える「スタンド」じゃあなくてね……「ひとり歩き」してる「スタンド」なんだ
オマエらが来てやっと出れたよ本体のオレ自身今まで「スーパーフライ」に囚われていたんだ
実は仕方なく生活してたんだまっ!オレの代わりにガンバって生活してくれよ!
ははは

来るな
億泰
やへェーよ！
ドドドドド
鉄塔に住もう
その3

鉄塔に住もう
その③

あの野郎ーーッ
「写真のおやじ」とつるんでたのかテメーッ!
①この男‥鋼田一豊大は
電線をつたわって逃げる気だが
長い間この鉄塔で生活して
いたため手のひらのタコが異常
発達してしまっている
②発達したタコが電線に ひっかかり
たとえ指を広げたとしても
落ちる事はない
ぶら下がるのに
握力がいらない
③また このタコは
異常に固くなっており
釘を打ったり
ビンの栓を抜いたり
できるし
火にさわっても
熱くない
④また
このタコと
タコの間の
風景を見て
木の高さを測ったり
遠くの山までの距離を測ったりも
できるらしい!
⑤また このタコ つば
口びるをあて おもいっきり
息をふくと ホイッスル」にも
なるし 鳥の声マネもでき
集める事もできるらしい

億泰さん
何か わたしに できる事は あるでしょうか？
ケガするから スっ込んでな
おめーの役目は もう終わったぜ
おめーがサイコロや 双眼鏡じゃあなくて 「ダイナマイト」になって この「鉄塔」を ブッ飛ばせるなら 別だがよ
はあ… それは 無理です
わたしは 自分以外の力は 出せないし 爆薬とか 複雑なメカには なれません
でも 何か 役に立ちたいの ですが
うるせーなっ てめーの役に 立つ事はねーっ つってるだろ
荒っぽい事は オレたちがやるッ！

あの野郎 もう
閉じこめたつもりになって
逃げ始めてるが
よォ———ッ

おれたちの事
知らねーんじゃあ
ねーの!

ドドドドド

おい
やんのかよ?・・・
億泰

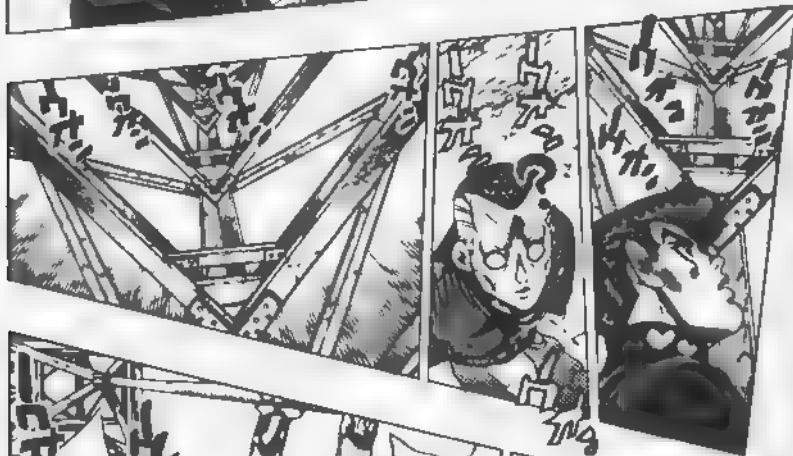
おめーだって
「やる気」だろ!?
こんな「鉄塔」が
何だっつーんだよーっ!

ドドドド

ブッ壊すせ
仗助
ああ～～っ
ブッ壊して
出りゃあ
問題は ねーなあーっ
うおおおおおおお
ドラア
ーーッ
ドド
ドドド

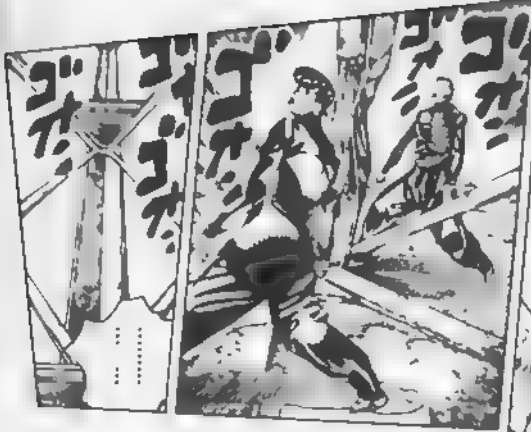
シャアアア
アアアア

ガラ
ガラ
うおおおお

けっこう頑丈だな！
しかし 何回か攻撃
繰り返してれば
この「柱」
ぶち折れ
るぜ
それに見ろよ！
あの野郎も
落ちて来そう
だぜエ〜〜〜ッ！
バ…バカがッ！
恐ろしい事
しやがって…
おれは自分の
「スタンド」に閉じ込め
られていたんだ
おれだって そんな事は
考えたさ
この鉄塔の「柱」を
どこか破壊すれば
外に出れるかもって
なあ——っ
でも
気づかない
のか？
この鉄塔が
おまえらの
「パワー」を
吸収して
鉄塔全体に
……
効果的に
散らしている…
事に！

何言ってんだ？
あのバカが！
仗助！もう少しで
オメーは外に出れるぜ
行くぜッ！
ちょっと待て
億泰
耳をすませ
何か様子がおかしいぞ
何だ？
このうねったような音は？
今おまえらが
「鉄塔」にぶち込んだ
「パワー」が
鉄塔全体を
かけめぐってる
「音」だよ

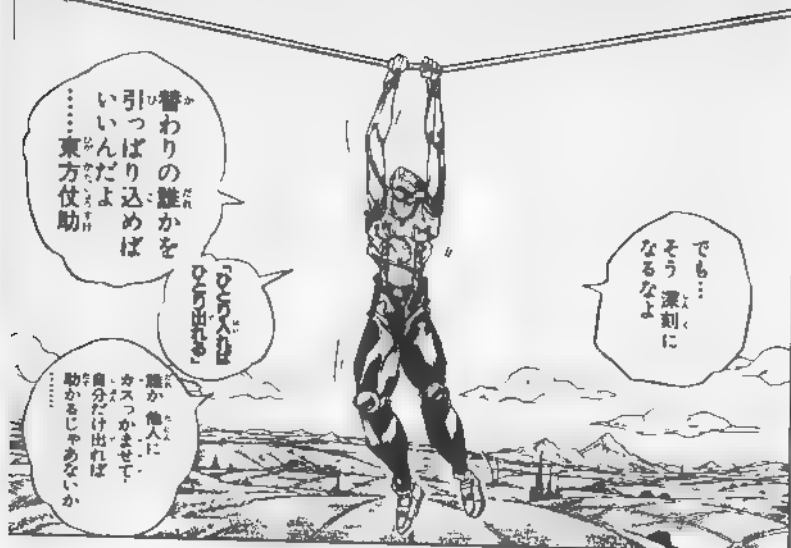
そしてよく考えてみなよ
「エネルギー保存の法則」ってのがあるよな かけめぐる「パワー」はどっかに逃げていかなきゃあダメなんだぜ
ゴオン
ゴオン
ゴオン
ゴオン
ゴオン
……
どこに逃げていくんだろーなー
ゴオン
ま…まさか!! ふせろ億泰ーッ
え!?

何イツ!
おう!?
おお
っおお

くガッ!
ドカカガガ
くそっ

うおおおおおおおッ！
攻撃するのは勝手だが鉄塔へのダメージはそのまま
回りに回って「自分」に戻ってくるようになってるんだよ
うっ うう
打てば打ち返され切れば切り返される！考えてもみろよ…たとえどんな「パワー」！どんな「能力」を使うヤツが来たところで この鉄塔を破壊する事は できない！
億泰!!

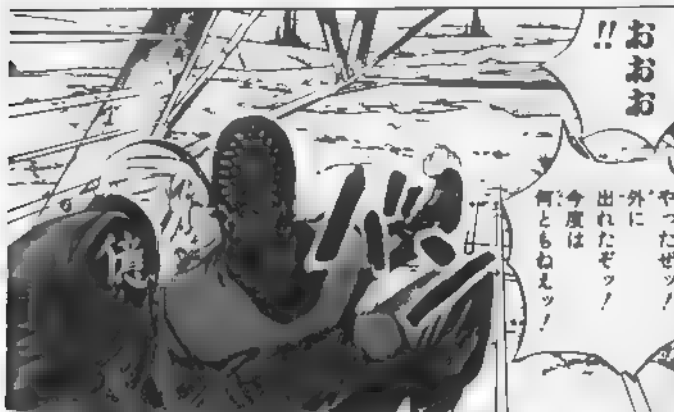
や……やベェーよ 仗助……
やられたよ……かわしきれなかった…
やられちまったよォ～～っ わき腹をえぐられちまった……
忠告しとくべきだったな
そして こうなると次に君たちは本体であるわたしを倒せば出れると考えると思う
だが それも無駄だぞ
前にも言ったがこの鉄塔は「ひとり歩き」してるスタンドなんだ わたしが操作しているわけじゃあないんだ
たとえわたしが死んだところで この『鉄塔』は 永遠に 誰かを閉じ込め続けるだろうな それが この『スーパーフライ』なんだ!

替わりの誰かを
引っぱり込めば
いいんだよ
……東方仗助
「ひとり入ればひとり出れる」
でも…
そう 深刻に
なるなよ
誰か 他人に
カスつかませて
自分だけ出れば
助かるじゃあないか
……
トランプゲームの
「ババヌキ」みたいな
ものさ
「人間の社会」と同じさ！
「ババ」は自分以外の誰かに
持たせりゃあいいんだよ！
確かに
……！
替わりの誰かを
引っぱり込めば
仗助さんは
助かりますね
ちがうかい
？
え？

何イ！
あッ！

ドギュ
帰るんです
未起隆ッ!
いつの間に!?
お…
おめ〜っ
な!?
何だ てめーはッ!!
何で電線に…?
……いつから
いるんだ!?
何だ この
「能力」は!?
よくぞ
聞いてくれました…
実は わたし
「宇宙人」
なんです
や…
役に立つ
じゃあ
ねーか…
オメーッ

今のうちですッ！
早く外に出て下さいッ！
佐助さん！！
ドドドド
ドド
ドド
ギリ
ゴン
き…きさまッ!?
鉄塔に住もう
その4

「鉄塔の男」
鋼田一豊大は
この鉄塔の事を
トランプゲームの
「ババ抜き」にたとえた
…………
『鉄塔』がほしいのは
たったひとりだけ！
たぶん ひとりの人間の
エネルギーさえあれば
「鉄塔」は
生きていけるのだろう！
鉄塔に住もう
その④

「ババ」を引いた者——！
つまり最後まで「鉄塔」に残った者ッ！
そのひとりは
永遠に外には出られない！
それがこのスタンド
「スーパーフライ」だ！
誉めてやろうぜ
未起隆をッ！
仗助
早く出ろッ！
「鉄塔の外」に出ろよッ！
お……
おう
ドキューン
おおお!!
やったぜッ！
外に
出れたぞッ！
今度は
何ともねえッ！

きさまッ！何なんだ!?
仗助の仲間にこんなのがいるなんて……
「写真のおやじ」から聞いてないぞ！ワイヤーに変身して登ってたのかッ!?
わたし宇宙人だから「ババ抜き」ってゲーム知らないんですけど
それってぜんぜん「ババ抜き」のたとえになってません
イキナリだまして仗助さんに もう外に出れないって……
まるで 正月に子供だまして大人がゲームに勝つみたいじゃあないですか
だから「鉄塔」に残るのは あなたであるべきです
あなたを縛りました…
あなたが残るのです

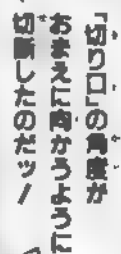
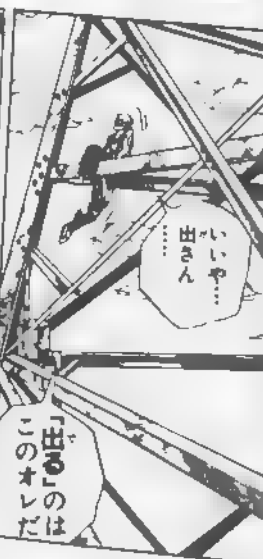
!?
ググ
クイッ
これはカッターだ！オレの手のひらの「タコ」の中にはいろんなものがしまってある
くらえッ！
ズガァーッ
ビリッ

それを
わたしだと思ってるようですが
それも間違いだと思います
それは
わたしでは
なく
さっき
あなたが
ぶら下がっていた
「この　のワイヤー」です
!!
……
うおおおおおーっ

やったぜ!
よおーし
そのまま
てっぺんから
外に出て
戻ってこい!
未起隆ッ!
ドドオオオオオオ
このオレが
何も考えずに
自分がぶら下がってる
ワイヤーを切断する
アホに見えるのか?
おまえらは
この「鉄塔」に
やっと
入ってきた
人間だ……
このまま逃がすと
思うのか?
このやっと訪れた
幸運をこのオレが
指をくわえて
手離すと思うのか
わたしは毎日毎日
この「鉄塔」から
出る事しか考えて
いなかった男だぞッ!

!?
お…おい 何だ!?
な… 何が 起こったんだ!?
!?
忘れたのか?
そのワイヤーも「鉄塔」の一部ッ!
「切り口」の角度が おまえに向かうように 切断したのだッ!
わ… わたし…
やられたの ですか?

み…未起隆！

未起隆！早く外に出ろッ！

その程度の傷おれが治してやるッ！

いいや……出さん……

「出る」のはこのオレだ

オレが「出る」事だけを考えていたという事は…

そいつを「出さない」方法を考えていたという事だッ！！

オレは何度も訓練して
エネルギーを見切る角度を知っている
ドギュ
方向角度よし！

打ちつければ打ちつけられる

未起隆ーーッ

や……野郎ォ……

おまえのおかげで「出る」のにちょっとてまどったが

これでゆっくりと出られるな

てめー 外に出たってよーーっ

逃げられると思えんのかーーッ 地の果てまで てめーを追ってやっからな コラーッ

ま…その傷はひっぺがす時苦労するだろうが

後でゆっくりと手当てしてくれ 下の地面に薬草もはえてるしよォーッ

逃げられるさ…

簡単にな!

おめーらは「[illegible]」だってどこ行ったか見つけられねーんじゃあねーのか?

おまえらはオレの顔を見てはいない……
名前だって偽名っぽくない？
……！
な…何だ!?
その顔何か かぶってんのか!?
仮面か
それより 仗助 どうしても こいつを助けたければ おまえが 替わってやれば いいんだよ おまえのために こいつは こうなったんだからよ……
それじゃあ
おれは これで さよならするぜ

きっ
きさまぁ――ッ
入って来ないで下さい…仗助さん
わたしがこの「」に残ります
もうだめです どうしようもないです
何だって
何？言ってんだコラ
!?
いえ…わたしが残ります
そもそもは わたしが双眼鏡で見つけた事が始まりですし
こうなったのも自分が勝手にワイヤーに変身して ここまで登ったからなんです
『ぼくだって少しはやるんだぜ』
『ちょっとは見直したかい』……って
思ってもらうためにやったんです
億泰さんはひっこんでろって言ったのに
自業自得なんです

何か
変なヤツだが
健気な言葉
だねェ〜〜〜〜ッ

でも ま…
オレにとっちゃあ
誰が残ろうが
関係ないがねェ〜〜〜
オレさえ出られりゃあ
それでいい……

気にしないで
下さい

わたしが
残ります

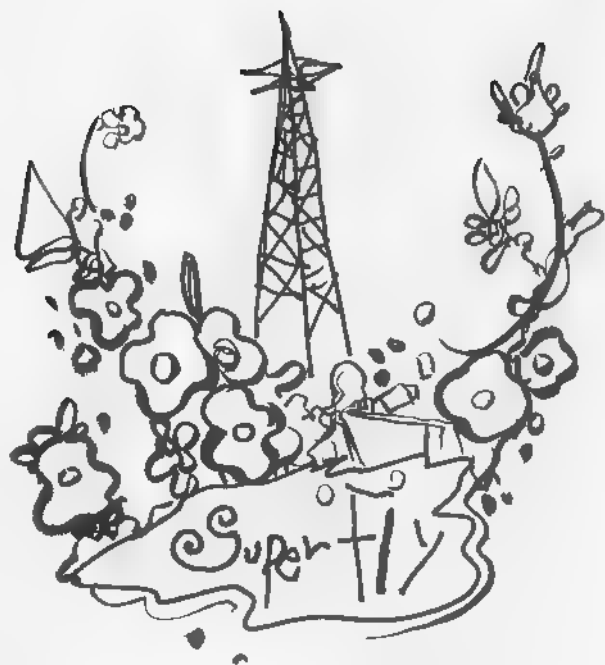
宇宙船の中の
ようなものと
思えば…
結構広そう
だし……

後は
おめーらで
勝手に決めてくれ

いいや
残るのは
おまえだよ

ド
おめーに「さよなら」って言葉があるとするならよ――っ
ドドドドド

おれたちが「さよなら」と言うのを聞く時だけだ!!
ジジイ
仗助さん
このワイヤーは……!
き…きさま!
おめーが切ってくれたおかげで直して戻ってこれたぜッ!

Superfly

鉄塔に住もう

その⑤

バッ…
バカなッ!
ドドドドド
じょ…
仗助さん

てめーっ もう逃げらんねーぞ このボンクラがッ！
落っこちんなよォ――ッ
仗助エ――ッ
未起隆 あと10秒ほど待ってくんねーか…
今… この野郎をブチのめして鉄塔内に連れ戻してから おめーを治してやっからよォー

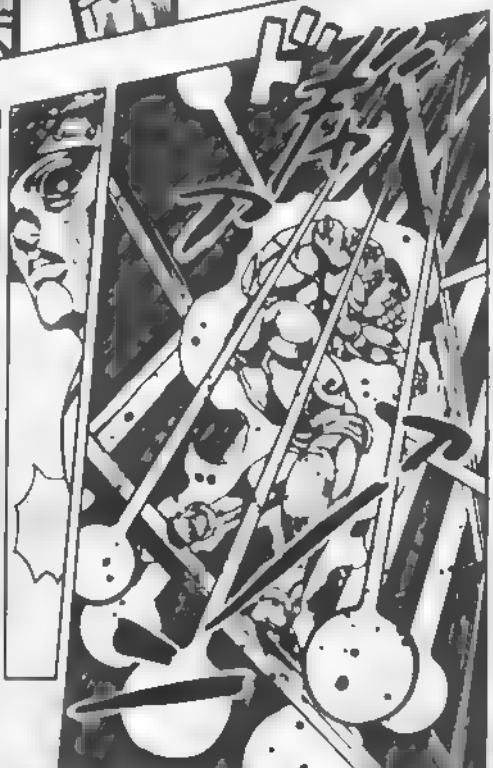
東方仗助 わたしは今、「バカ家」と言ったけれど それは言い間違いで
正しくは「バカめ」と言い直すよ……
ド ド ド ド
わたしは この「」から 出るだけでよかったのに おまえらの誰も殺すつもりはなかったのに、
ド ド
これじゃあ おまえを ここから突き落とさなくては 逃げられねーじゃあねーか この「バカめが」ア——ッ！
やかましいッ!!
ドドドドーン
ドラアッ

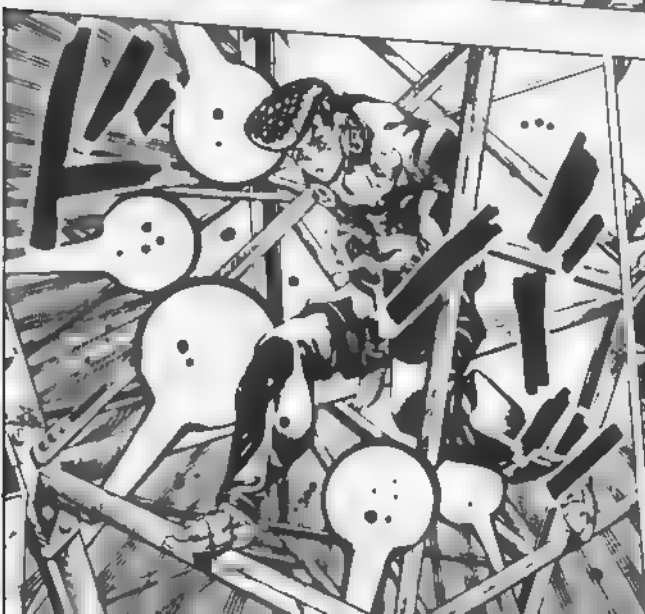
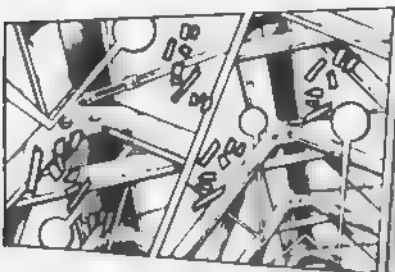
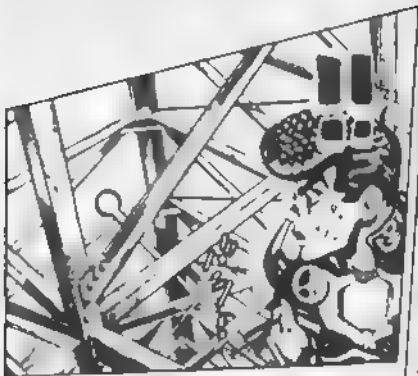
ドドド
ドドドド

うおおッ!
ゴオオオオ
「クレイジー・D」…
間近で見ると スゴイ迫力だ「スタント」だが
この「鉄骨」の上に おいて
目をつぶってでも歩ける
このわたしに 第一歩でも
触れられると思って
いるのか?
射程距離も
ニメートルって
ところだな
ウゥー…

あっ
危ねえッ!
てめー こら ふざけてんじゃあ ねーぞッ!

仗助さん
そこを移動してッ！
ナイフて すてに
キスをつけているッ！
『鉄塔』に すてにキスを
つけているッ！
ドドーーン
ギャア
ドラアッ

ドドド
ドガァ
よだれ落としてる間に「髪型」にキズつけるためこそくなマネしやがって……
しかし しょせん ナイフの「落下」の重力エネルギー
おれの「クレイジー・D」でよけられねえ「スピード」じゃあねーなあ〜〜〜〜っ

ニニッ
……
何ニヤついてんだ てめーーッ
これから ブチのめされるのが そんなに うれしいのかァーッ コラーッ
わたしは この「鉄塔」の事は スミからスミまで 知りつくしている ……
どういう角度に 「キズ」をつけりゃあ どういう方向に 「エネルギー」が 飛んでいくのか…
やりあきた「ビリヤード」のように よーーく 知ってるんだぜエ〜〜〜ッ
……「ビリヤード」

う…うう
じょ…
仗助ッ！

「ビリヤード」のように
下の「鉄骨」に 反射を
させる様な 角度で
飛ばしたのだ…
「クレイジー・D」で
よけられない事は
ないスピードと
言ったな？
しかし どの方向から
来るかわかるかい？
あと何発ぐらい飛ばしたっけ
な… 今…反射をしている
最中なんだぜ…
そおーら
飛んで
くるぞッ！

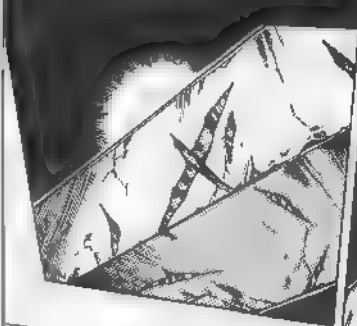
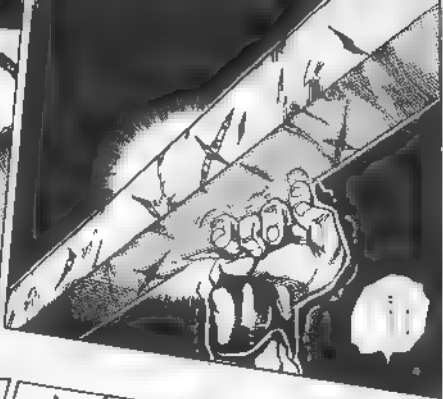
仗助さん
背後からも
来るッ！
ドラララララ
ラララララア
ーーーッ

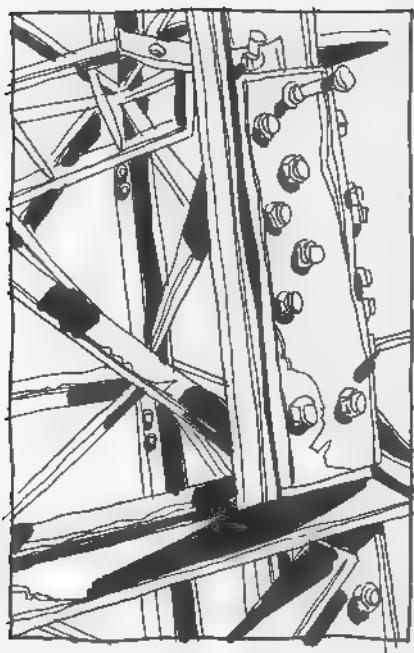
うくおおおおおおっ
仗助さん
おおおおおおおおおおおおッ

だから「バカめ」と言ったのさ…
そこの「宇宙人」とかいう野郎がけなげにも「戦場」に残るって言ったんだからそれを素直に聞いていれば死なずに済んだものを
両脚をやられているッ! つかまっているのがやっとッ あ あれでは次の攻撃はよけられないッ!
飛ばすぜッ! とどめのエネルギーを! 仗助ッ

狙いは良しッ!
ところでよー 億泰!
今 おれ こいつの攻撃ー
何発ぐれー「クレイジー・D」でたたき返したか そっから見えたかよ?
何発?
ン?
ああ… 見えたぜ
たしかよォー 四発は たたいてたと 思ったぜェーッ
ところで…?
だと?

四発か……
ま…
十分てとこっかな……
四発なら十分だな……
何言ってんだおまえら…？
おまえが「反射」って言ったんだからな……
スタンドエネルギーを「ビリヤード」のように「反射」しておれを攻撃したっておまえが言ったんだからな…
だから何の事だ!?
仗助…
おれの『スタンド』は『クレイジー・D』！
ドドドドド
『写真のおやじ』から聞いただろうが能力は破壊された『物』や『エネルギー』を直すッ！
……直す……
83

直すだと!?
何を直したって言うんだよッ!
今のおまえに何かを直す余裕があったって言うのか――ッこのバカがアーッ
あ

…………
反射してくるエネルギーを直して…「キズ」をつけた場所に逆行させていた……
仗助さん…やられたのかと思ったらすでに
勝っていたのか…
バ…バカ…な……
ぎゃあああああああ——ッ
やはりおめーのセリフはよォ〜〜〜〜ッ
『バ・カ・な』だったなぁ〜〜っ

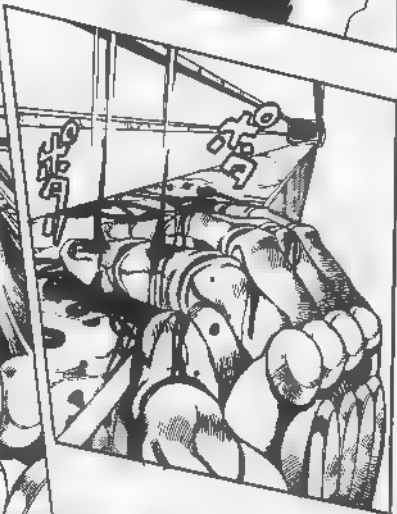
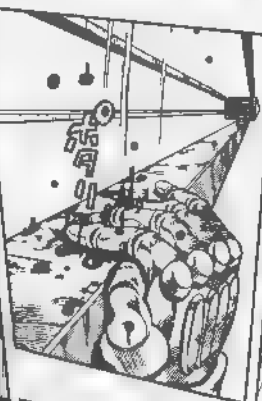
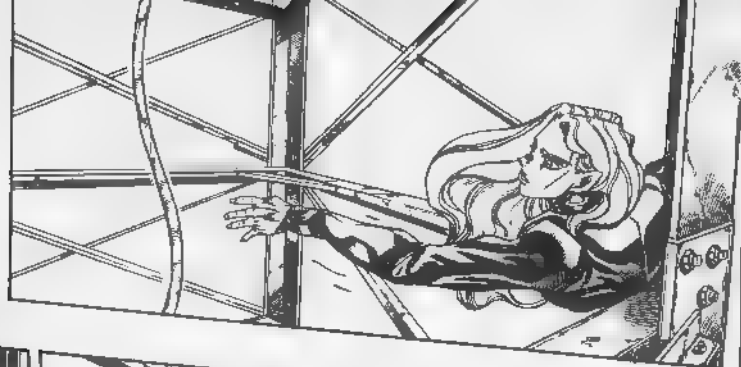
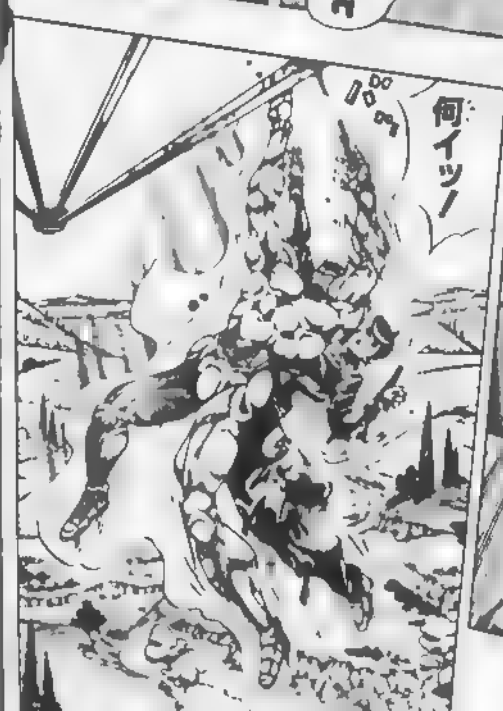
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ

鉄塔に住もう その⑥

ひとり歩きしている「スタンド」「スーパーフライ」さか
その巨大さとよォー「鉄塔」自分自身を守る能力は No.1の「スタンド」だな
きっとエジプトのよォーピラミッドのように これから何千年もずっとこーっ このままなのかもな
ああ
だ…大丈夫ですか？
登ってこれますか？仗助さん…！
でも やっとぶら下がっているって感じだな 危なかったぜ
未起隆 そこの「鉄塔のワイヤー」よォーつかんで おれのとこまで持てられないか？ ワイヤーは外に出られるだろ？
できれば それにつかまりてえぜ

ポタリ
ポタリ
ポタリ
ヌルル…
ポタリ
ポタ
!!

!?
何イッ！

てってめーッ

ズルリ
『血ですべらせる』…
…ひょっとしてこれ……マジにやベエーんじゃあねーか!?
ポタリ
ポタリ
ポタリ
た…単純だがスゴク効果的な攻撃なんじゃあねーか……これは…
「クレイジー・D」で やつのキズにさわればそのキズ口は治せる……し、しかしよぉ…「血」の方を治そうとしても この「血」がやつのキズ口に戻っていくわけではない…
この「血」のすべりを 防ぐ事は できねえッ!
お…落ちるッ!
ま…まじにやべェーぞッ!

未起隆ッ!
早く 投げてくれ
ワイヤーを早くッ!
すべるんだッ!
え!
す…
すぐには
無理です
ワイヤーが
長すぎて…先端まで
ひっぱり上げないと
……
重すぎて
そこまでは
投げられません
おおおお
おおおおおお
てめー コラッ!
よくも こんな目に
あわせやがって ぜってー
そこまで登って てめーを
ぶちのめすッ!

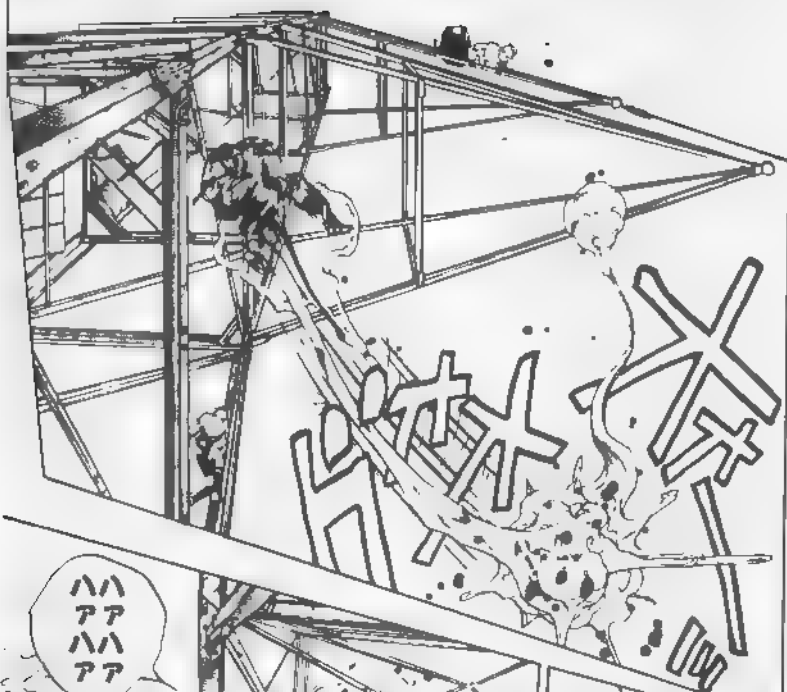
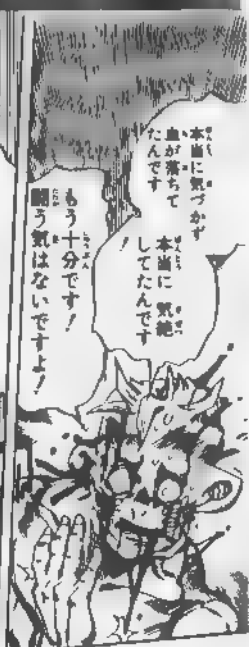
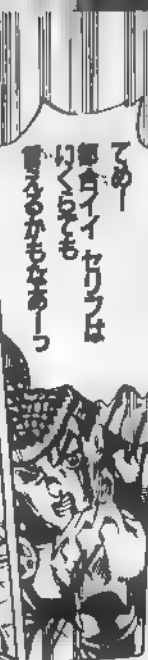
ウム…
……
……
!!

ちょ…
おおっ……
おおお………

鉄塔を
左腕で殴るんですッ
左腕ですッ！
わかってるんだよ
そんなこたあ!!
ドンッ
バゴオッ!!
うおおおおおお
おおおおおお

仗助ッ
これだけは
自分の「スタンド」に
なんてよォ
――――

よく……
き……きく……
み……
見ろ……
やはりよ……

……戻った……
鉄塔の反撃エネルギーに戻らせて
ハアハアハアハア
ハアハアハアハア

本当に気づかず
血が落ちて
たんです
本当に
気絶
してたんです!
もう十分です!
闘う気はないですよ!
てめー
都合のイイ セリフは
いくらでも
言えるかもなあーっ
もう この
「鉄塔」の中に
帰りたい…
もう「鉄塔」から
出たいとは
思わないよ…
わたしは 今まで
この「鉄塔」から
出る事だけを
考え……
完璧に計画して
出ようと
思いました
…
でも 計画通りには
いきませんでした
思い知りました
わたしって子供の時から
自分が計画した通り
事が進んだ事って
ないんですよね

スミから
スミまで知ってる
この「鉄塔」でさえ
こんな恐ろしい目に
あうのだから
いろんな人のいる
「外の世界」に
行ったらと思うと
もう恐ろしくって
恐ろしくって……
もともと
他人が嫌で
この鉄塔に
住み始めたん
だし…
お願いです！
この鉄塔に
帰らせて
いただけないで
しょうか！
もう一生
ここから
出たくないんです
……
……
……
……
そうだ！
キズの手当てを
させてください
……
薬草は
揃って
いますから
えっ!!
い…いいよ！
家に帰って
するから

「写真のおやじ」にそそのかされてやった事だったんです
「スタンド使い」をひとりでも ここに閉じ込めたら外の世界で生活する面倒をみてくれるって…
スミませんでした
そうだ…一発 パーっと山菜でも食べましょうか？
べ…別に食いたくないよ
たしか山菜にもウンコが
何かおわびがしたいのです
スズメでも捕まえましょうか？
い…いいよ
それよりよ
「写真のおやじ」だがよ……
杜王町新名物 その⑤
『送電鉄塔に住む男』
すべてを自給自足で生活しているが塩とかお菓子を持っていくと喜んで写真をとらせてくれる
恥ずかしがり屋なので仮面をかぶり本名は教えてくれない

何か言ってなかったか？
息子…『吉良吉影』の居場所とかよ…
何でもいいんだ
………
『コーイチ』……
……という『スタンド使い』……いますか？この杜王町に？
……
いる…んですね？友達………ですか？
康一がどうかしたのかよ…？
いいですか…
『写真のおやじ』が何気なく会話の中でチラッとだけ言った事なのです
わたしは詳しくは聞かなかったしヤツも細かくは話さなかった事なのです
だから康一がどうかしたのかよオーッ

「始末した」と言っていました

今朝…新手の「スタンド使い」が…

ドドドドドド
ドドド
何だってッ！
今 何つったァ
てめーッ!!
だから
聞いたのは
それだけです
ドドドド
見つけたようで…
「これからは
だけではない
こっちから
「すでに
新手の
スタンド使いが
という
スタンド使いを
始末した」
ただ
そう言った
のです
TO BE CONTINUED

『康一』が消えている……！
どこにもいない！みんな捜している！
エニグマの少年 その①

康一は今朝
自宅からの
登校途中に
「新しい敵」に襲われた
らしいッ!
死んでるとは
考えたくねえッ!
そこで おめーの
「臭いの追跡能力」で
康一 捜すの
協力してくれんなら
よォーーーッ
噴上裕也!

カサッ
「ケガ」……治してやるぜ
これは「取り引き」だぜ
「取り引き」…………だと……？
ふざけるな仗助～～～ッ
オレをなめるなよ～～～
おれをこんなにしたオメーをおれは許さねえ～
この上裕也のプライドが協力するとでも思ってんのかよォ――ッ
やはり……NOかよ……
最初から無駄だとは思ってたけどよ――っ

じゃあ
またな
えっ
あれ!?
!

登校途中の歩道によー
この「康一のカバン」が落ちているのを見つけた
今のところ手がかりはよォ この「カバン」だけなんだ
康一のカバンの「臭い」からよ 康一を追跡できねえか!
なあ
苦しい間 痛く時によォー 早いとこ 治してくれねーかァ つらいよ このケガよー
すでに「クレイジー・D」は おめーを治しちまってるよ……!
起きれんだからよーっ 早えとこ 出かける用意しろよ…
え!!
ドドドド

おれってよ〜〜〜って

やっぱり カッコよくて…… 美しいよ なあ──っ
ひかえ目に言っても ミケランジェロの 彫刻のように よオ〜〜〜ッ
でも なんかよー 前より 目尻が タレ目になったような 気もするが
この美しさの ためなら
何だって やるぜ…
おめーの「スタンド」って 一〇〇%正確に 治せんのか
イチャモン つけてんじゃね──っ
それより よー──っ
おめーの「願い」かぐ 能力の 方を聞きてえ!

臭いって・どの程度かげんだ？
・・・
そうだなあ…
そりゃあ「警察犬」のように頼ってもらっても困るけどよー
「ハイウェイ・スター」身につけてから以前よりけっこう鋭くなったなあ……
こうやって覚えた「臭い」ならよ
「臭い」の新鮮さにもよるが十メートルぐらい離れてもかぎ分けられるな…
例えばだな
今女が廊下の先を歩いてくるのがわかる…
女三人だな
よく知った臭いだからわかる このにおいは「レイコ」と「アケミ」と「ヨシエ」だな…
とり巻きの女どもだよ
しかもこいつら今…パチンコ屋に行った帰りっつー事もわかる

あ――っ〃
裕ちゃん！
裕ちゃんが起き上がっているッ！
よう
治ったのッ！裕ちゃん！
裕ちゃやーん！
ピ
ン
よしよしカワイイやつらよのーっ
あっ
てめーは仗助ッ！
ここで何してるッ！ドスで突かれてーのかーコラーッ
おいやめろ仗助には もう恨みはねえ
それよりよおまえら今パチンコ行ってただろ？

えっ!!
どーして わかったのーっ
スカートの けつのところあたりから 汗くせー臭いがする… 長い時間 ビニールのイスに 座ってた証拠だ
おめーらが 本読むために イスに座るとは 思えねーからよー
座るっつったら サ店で ダベるか パチンコで ねばるかだろォ ———…
コーヒー・紅茶飲んだ 臭いが しねーから パチンコ屋だ
それに 「アケミ」 おまえ 部屋に 入ってくる時 うかれた顔 してたな……
パチンコ 勝っただろ? おれに おみやげは?
もう～～～ ～～～～っ
裕ちゃん あげるに決まってる じゃない: ハイ チョコレート

つ………わけでよォー
ごらんの通りおれはこいつらがいてこそのおれなんだ
ケガ治してくれたんだ協力するぜ

「狂犬」ほどじゃあねーだと？
……それ以上だぜ！噴上裕也

それじゃあねー裕ちゃーん
電話するね――っ
バイバイ裕ちゃん
ゴゴ…

ここだよ
この場所に「康一」のカバンだけが落ちていたんだ……
二分たらずのところに 康一の家があり おれん家も五分たらずの場所だ。
この通勤通学路で……
「新手のスタンド使い」はどうやって康一を襲い連れ去ったというんだ…
見た者は誰もいない
カラ
リン

仗助……！
おまえとおれの
『取り引き』
つーのは………
おれが『闘う』のは
入ってねーよなーっ
『追跡』だけだよなあ〜〜〜っ
……
？
おれは敵と
闘わなくても
いいんだよ
なあ〜〜〜っ
仗助…

何今ごろ
そんな事
聞くんだよ
〜〜〜〜っ

おめ〜〜・・・
すでに・・・
つけられて・・・
たな・・・・・・

え！

あの
男・・・
だ・・・

『康一』と
同じ臭いがする・・・
・・・・・・！
あいつは・・・・・・

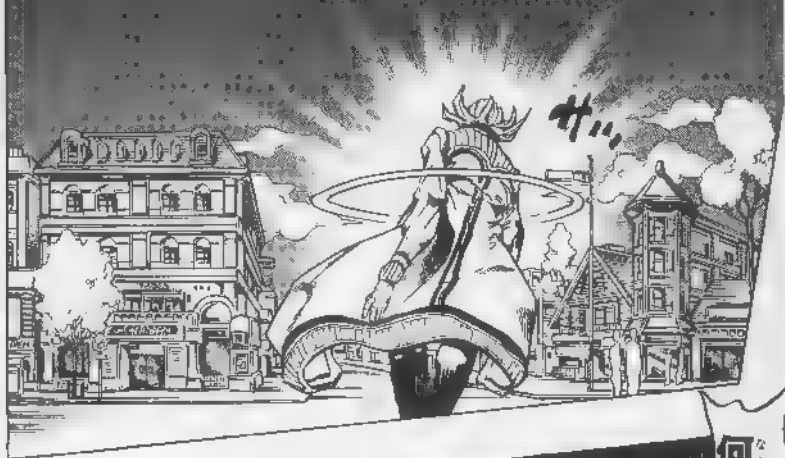
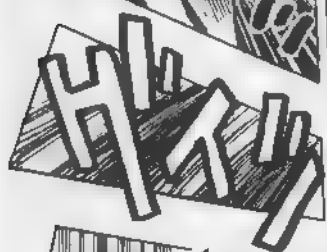
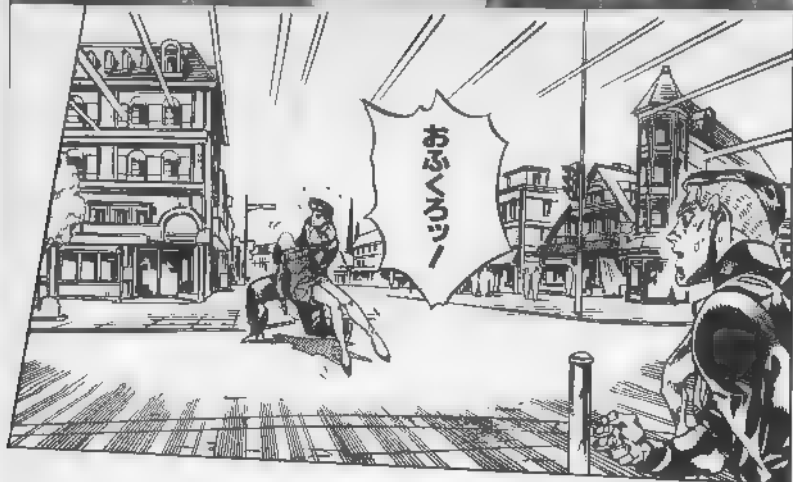
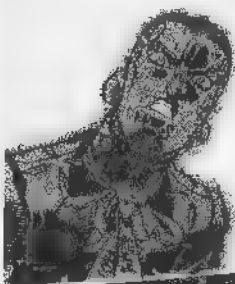
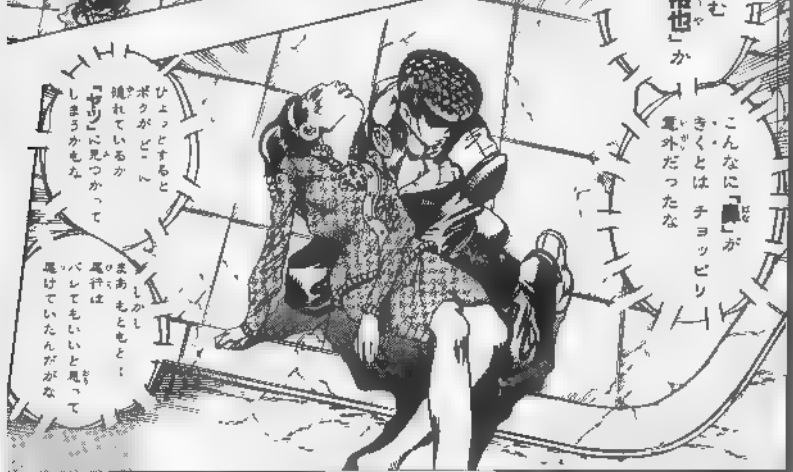
あの男
から・・・・・・

『康一』の
品物を
何か
持っているッ
ドドドドドド

仗助… おまえ すでに 狙われていた らしいな…

ザッ
何だとッ！
あの野郎がかーーーッ!!
待てッ！
てめーーっ
コラアッ！
ドン
ザッ
ザッ
ザッ

ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ききま
この野郎ッ！
康一をどうしたあ――――ッ
ガシィィィ
ドォアァァ
サイッ
えっ!?

ユラリ
お…
ガシッ
……おふくろ…？
!!

おふくろッ！
な…何だ!?
おふくろだッ！
お…おれの！
確かにおふくろだ！
き…気失ってるが生きている…
野郎
ここから見てても　わからなかった…
いつの瞬間からか　仗助の母親に変わった…
確か　承太郎は
二秒ほど「時」を
止められると聞いたが…
そんなもんじゃあねーぞ
これは！
人間ひとり　どっかから
持ってくるなんて
承太郎だって不可能だ！
そして　いるぞ！
仗助ッ！
康一の臭いは
まだ消えてねえ！
近くにまだいるッ！
ドドド

エニグマの少年
その②
直接 おれを
狙って来んならよ
〜〜〜っ
また…
再起不能程度で
済ましてやっても
よかったが…
ドドド
ドドド
野郎…
おれのおふくろを
……!!
こーゆー……
タイプは許さねぇ
こーゆー
こぎたねえマネする
タイプはッ!
ドドドド

裕也ッ！ヤツは どこ行ったアーッ
野郎はどこへ消えた——ッ!!
「触ってた」おめーがわからねぇんだから……
おれに理解できるかよ
し……
しかし……!!
まだいるぜ……仗助……
ド
ド
ドド
ドド

近くにいる…
どこかまだ…臭いは消えてねえんだ…
……
う〜〜むこんなに「鼻」がきくとはチョッピリ意外だったな
『噴上裕也』か……
ひょっとするとボクがどこに隠れているか「ヤツ」に見つかってしまうかもな
しかしまあもともと…尾行はバレてもいいと思って尾けていたんだがな

どっちみち 仗助の母親は 「出す」つもりでいたんだ…
仗助のヤツを「」するためにな…
まず「」だ……
今…… 仗助の母親はすごく役に立っている… …フフフ…
我がスタンド「エニグマ」は… もう少しで仗助… おまえを始末できる！
「エニグマ」は…… じっくりと「」する
広瀬康一をも「」した… おまえの母親をも「」した…

一時間ほど前……
仗助の母親「東方朋子」は帰宅した玄関の空気に何か違和感を感じた……
あれ？
どこかいつもと違う……空気を
……
？
仗助かしら？
あんた帰って来てるの？
いるの？仗助！
……
？
……

……そうよね

あいつが帰って来てるならクツがあるはずよね…気のせいか…

まだ・[illegible]と どっか ほっつき歩いてるのよね……

ガチャッ

仗助のヤロー……
すっげー行儀が悪いわッ！
あたしの大好物の「鎌倉カスター」一口だけかじって冷蔵庫置いとくなんて……
しかも記憶によると最低でも一個は残しといたはずなのに……ムカつくわッ！あいつッ！
パクッ

……
……
仗助ッ！
やっぱり あんた帰って来てんじゃないッ！
いるんでしょ!!
なによ あいつ
……
……
……

ひっ!!へ
恐怖を感じない
人間はいない…」

「怖い」という 態度や表情を 押し隠そうとしても ダメだ
心の奥深いところの 「恐怖」って言うのは それは決して 取り除く 事はできない 誰だろうとね…
だ…… 誰？
どこから 入って来たの？
今見て わかったのだが あなた ひょっとして 怖がった時 「つばを飲み込むクセ」 ありますね？
どんな人間 だろうと 「ビビった時」 無意識の 「サイン」を出す ものなんだ
恐怖に 縮み上がった時の クセをね 自分で気づいて ない？

ダン

誰ッ？
聞いてるのよッ

お金だったら
あげないわよッ/
すぐ出て
いきなさいッ/

ピタ

強盗に
見えますか
？

お金なんて
いりませんよ
……
むしろ払いたい
くらいだ

だって
ぼくは今
すごく楽しんで
いるのだから
……

今あなたに注目
されているのが
すごく楽しい……
恐怖であなたが
ぼくを注目して
見ている事がね…

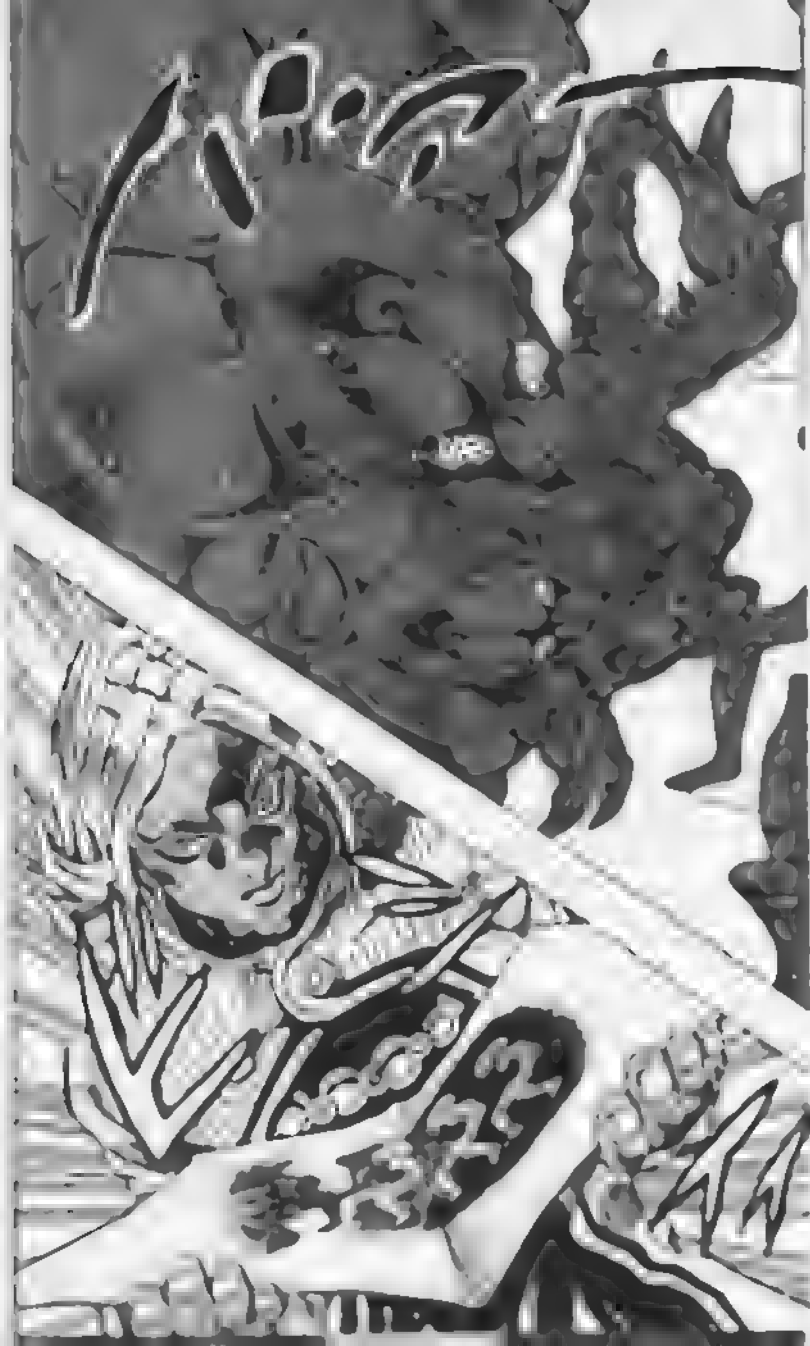
スッ

ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ
ゴゴゴ
おや……また「ツバを飲み込み」ましたね？
あなたはビビった時必ずツバを飲み込む
ゴゴ

…
…
ゴク
ゴク
ゴク
ドドド
バン!!
ダァン
ほーらッ!今
また「ツバを飲み込んだ」ぞッ!
やっぱり それがあなたの
ビビった時の「サイン」だッ!
ドドドドド
ゴゴゴ

のサイン

我が「エニグマ」は
絶対無敵の
攻撃を完了
するッ!!

パタン
パタン
パタン
パタン
この「広瀬康一」も…
簡単に「本にできた」！登校途中 ちょいと脅かしたら康一の「恐怖のサイン」は「目ばたき三回」…すぐわかった
ド
ド
東方仗助がどんなに根性がすわったヤンだろうと…
この母親を 出してやれば恐怖でビビると思ったが…
ドドドド
ドドド
そして「東方朋子」!!
案の定この母親はすごく役に立った！

見たぞ
仗助の『サイン』を‼
ドドドド
仗助の「恐怖のサイン」は十中八・九！『下唇を噛む事』だ
仗助はビビった時まちがいなく『下唇を噛む』
この次に仗助が恐怖し『そのサイン』を出した時！『エニグマ』は仗助をこの世界から始末する！
ドドド
裕也ッ⁉
『臭い』はどこから来るって聞いてんだよッ
『臭い』は仗助の母親のあたりから来る……！たぶん上着のポケットあたりから……『ポケット』にいるのか⁉ヤツは⁉
しかしおれは近づくのはゴメンだぜー どんな『スタンド』か全然予測もつかねーのによーーオ

ドドドーン
もう 勝ったも同然だ…!! 東方仗助!!
仗助は恐怖した時『下唇を歯でかむ』…
ヤツに唇をかませればいいのだ! 簡単な事だ!
エニグマの少年 その③

その時が我が「エニグマ」の無敵の瞬間ッ！
畜生 おめ～ さっきから おふくろを 見てるな
まさか……ヤツは ここか！
ここに いるのか？
ヤツは ここかッ!?

「スタンド」の
ヤツは
ドドドド

ドドドドド
おっ！
かむか…ァ
ドドドド
……
仗助…
おれは…
「闘う」のを手伝う
約束はしてねーぜ…
これ以上
教えるって事は
「闘う」のを手伝う事だ
……
……

これ以上はヤバすぎんだよ「吉良吉影のおやじ」たちを敵に回すのはゴメンなんだ…

おれは無関係でいたいんだ…

ケガを治してもらった「取り引き」なのによォ〜〜っ 自分の身をヤバイ状況にさらすのは…アホのする事だぜ〜〜〜〜〜っ

そいつは「不気味」すぎる 悪いけどよォ〜〜ッ

「ポケット」には何も入ってねえ 左右とも空だ…

…………
「ポケット」から
臭いが外に
出た…
…………
おれだったら
その「紙」は広げたりは
しねえ…
ひょっとしたら
その「紙」が
ヤツなのかも……
考えても見ろ
なぜずケノトなんか…
隠れる必要がある?
ワザと
ヤツはきっと見つけられる
のを待っているために
隠れているんだ
カサ
カサ
……

ただの……
白い「紙」だぜ
何も書いてあるわけじゃあねえ…
?

何ッ!?

仗助ッ！
やられてねぇ
や…野郎!!

フフ…「クレイジー・D」か……
ま…話では聞いていたとおり鉄の弾丸ぐらいじゃあどうって事ないか…しかしビビったかい？
ゾッとしただろう
かめよ東方仗助／下唇を…
おお…かむか!?
これがヤツの「スタンド」かッ！
「写真のおやじ」みて――に チンケな「スタンド」だな ――ッ コラアッ！
かめ／
そうらかんで見せるんだ／おまえの「サイン」を／
チッ まだかまないのか／怒る事で恐怖をゴマかしやがったな…!!

しょうがない……港を壊すとするか
ブワァァァ
ズッ
いい度胸だ……野郎ッ！
……
……
……

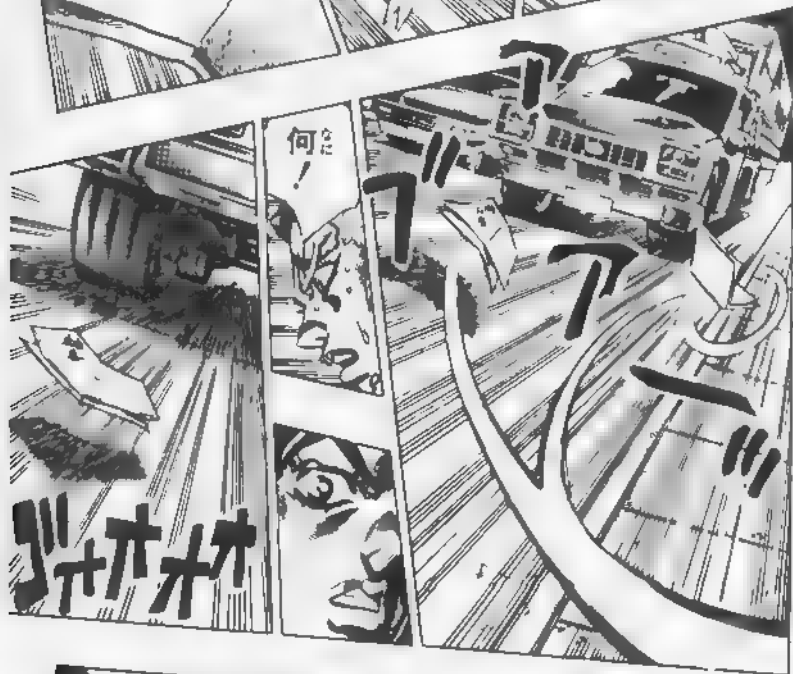
確かに
ボクの「スタンド」は
チンケな能力かもな
しかし
あえて能力の説明をすると いろんな物を
こうやって「紙」にして
ファイルしておく能力は
バツグンなんだ
本物の鉄だって
簡単に
持ち歩けるし
九州のトンコツラーメン
だって ホカホカのまま
ファイルして
杜王町で好きな時に
食べる事だってできる
フフフ
ビリッ
ビリ ビリ
ビリ

そして この紙が「広瀬康一」さ
もちろん生きている ……ぼくの「スタンド」はチンケな能力だからねえ〜 ……人を殺すパワーや能力はない……
もっとも 今のように 紙がやぶいてしまえば 別だがね……
てめー「康一」をそこに 持っていたのか……

ブチのめすだけてよぉ――ッ
許してやっからてめー康一をここに戻しな！
ドドドドド
ぼくが康一を隠したのは許してもらうためでも
ブチのめされるためでもないぜ
ドド
取ってみなよ……
取れるものならね
ドバババ
ドラアアアアアアア

広瀬康一
何!
ゴォオオオ

ドッ
「誰かか やぶけば
別だかね」
ドッドッドッ

ドドドド
それがワナだ……
その「紙」は追わない！
おれだったら
康一は無視する……
康一――――ッ
かんだな！
ついにかんだな……
今だ……
ドドドド
ドドド

エニグマの少年 その④

この瞬間を「エニグマ」は待っていたんだ東方仗助…

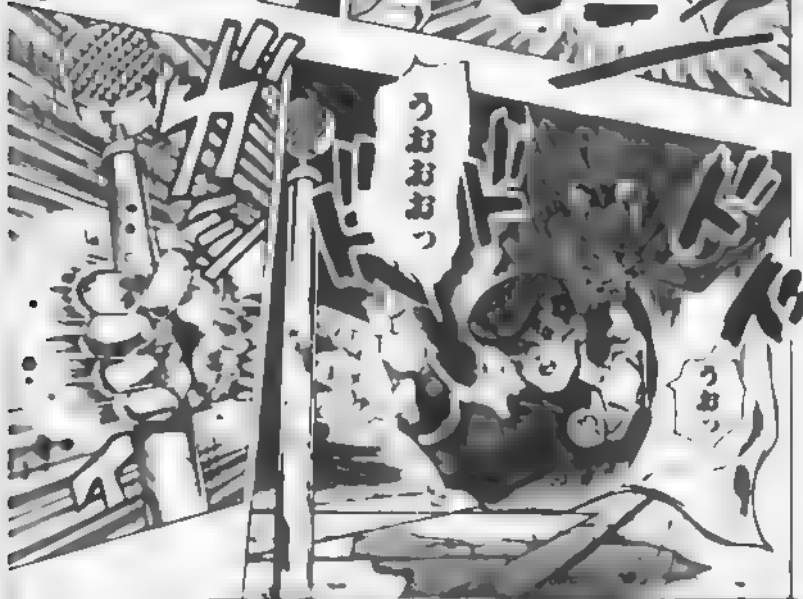
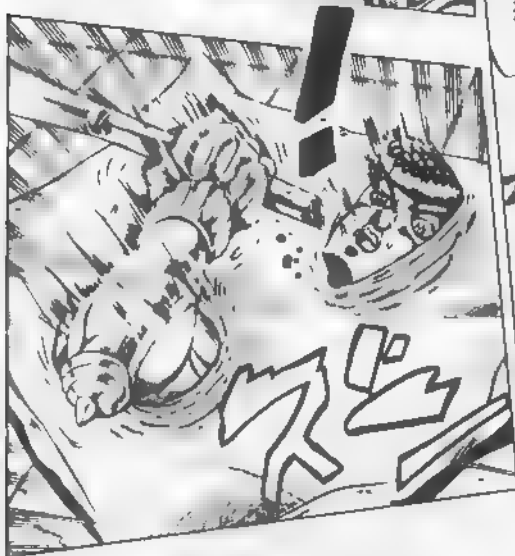
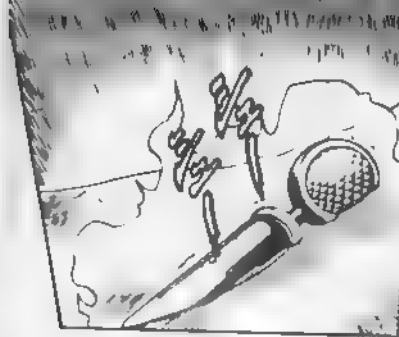
おまえが
「をかむ」
この瞬間を
なあ〜〜〜〜

ドラララララララ
ララララララァ——

ドドド
野郎〜〜〜てめえッ!
ズキューン
ドドド
うおおおっ
ドドド
うおっ

メキョ
メキョ
メキョ
「エニグマ」
人の
「恐怖のサイン」を
待って攻撃する
「スタンド」か…
バキ
仗助に協力しなくて
よかった
もし協力してたら…仗助よりも
先にヤツは「臭い」のわかる
このおれを始末したろう…
ドン

この世のどんな力だろうが……
『エニグマ』を止める事はできないという事がわかったかね？

ドドドドドド
ドドドド
「クレイジー・D」のパワーで
出ようとしている
……
……な
……何だと
そこの「紙」はよぉ〜〜〜
たぶん
囚われている
「紙」じゃあねえ……
ゴゴゴ
ゴゴゴ
ハァ ハァ

…………
……
名前だけ「広瀬康一」と
書いた ただのオトリだって
事は わかっていたさ…
なぜなら
……
おめーは康一を人質にとってる
からこそ 安心しておれの前に
正体をさらけ出せたし
生きてるからこそ
このおれに
おどしをかけられるんだ
その康一を
車で殺して人質を
失うようなマネを
するわけがねえんだ
「その紙はワナだ」…
それはわかって
いたんだ…
そうなんだよ
なあ——
……
しかしよォー
それでも
なぜ おれが
その「紙」を助けようと
したのか…
ひょっとしたら
康一かもしれないと
思ったら…
万が一でも!
康一だっつー可能性が
あるのなら!

その「紙」を助けに行かねえわけにはいかねえだろう…！
「エニグマ」……
「クレイジー・D」の力が
だが……一つだけ忠告しておくぜ

おれを「紙」にしたなら すぐに破いちまって おれを始末する事だ………
もし こっから 復活する 事が あるなら よォ〜〜〜
てめーを殺すぜ――ッ!!

フフ…フフ…
ハハ
ぜ・ぜんぜん たいした事ない ヤツだったぜ…！
でっでかい口 たたきやがって
ケッ
バババ
噴上裕也か……
協力しなかったのは「賢い行い」だったな

「写真のおやじ」にも おまえを始末しろとは 言われてないし ……
もし 今
おまえが仗助に 協力してたなら…… おまえなんか 簡単に 始末できたんだぜ
おまえの「緊張のサイン」は
「アゴを指でイジる」事さ
………
………
命拾いしたな… それが「賢い行い」さ
スッ
タクシー
パタン
パタパタ
パタパタ
パタン
パタン

パタッ
ドドド
ドドドド
ドドドド

…………
「杜王グランドホテル」へ行ってよ
…………
…?
ボー!……
……
おかしいなあ～～
この道は…確かおれ こんなとこ走ってたっけな……?
?
聞こえたかい?「杜王グランドホテル」だぜ
あ……ああ
わ わかりました
「杜王グランドホテル」っすね……ヘイ
まあ どっちでも
そう「杜王グランドホテル」だ

あそこには
いろいろ
いるからなあー
いいや
には行かせない
……
ア
ア
ドドドドドドド

これは『』だな……
『』は とり戻したぞ
『』は どこに持ってる？
……『』は…
ワンワン
何ィ〜〜〜

仗助の野郎〜 気どりやがってェ〜〜〜
康一かもしれないという可能性が一%でもあるのなら…！
助けねえわけにはいかねえだろう ワナだとわかっていてもよ〜〜〜〜
これがもし！
されたのがもし！
バカだけどよォー おれをいつも元気づけてくれる あの女どもだったらと 思うと…
あの女どもの 誰かだったらと 思うと

てめー！
おれだって
そうしたぜ！
てめーや
「吉良吉影」をこの町で
生かしておくのは
カッコ悪い事
だぜエーッ
よこせ 康一をッ
ドドドドドドドド
おまえが 今…
やっている事は
「賢い行い」ではない

 🔲エニグマは謎だ！の巻(完)

■ジャンプ・コミックス

ジョジョの奇妙な冒険

43 エニグマは謎だ！の巻

1995年8月9日　第1刷発行

著　者　荒木飛呂彦

編　集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-50　電話　東京　03(5211)2651

発行人　後藤広喜

発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-50
03(3230)6233(編集)
電話　東京　03(3230)6191(販売)
03(3230)6076(制作)
Printed in Japan

印刷所　株式会社　美松堂
中央精版印刷株式会社

ISBN4-08-851893-4 C9979